

株式会社 LIFULL

(証券コード：2120)



会社説明会

2026年2月

免責事項

本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。また、本資料に記載されている当社及び当社グループ以外の企業に関わる情報は、公開されている情報などから引用しており、その情報の正確性などについて保証するものではありません。

登壇者のご紹介（代表取締役社長 2023年12月就任）



いとう ゆうじ
伊東 祐司

代表取締役社長執行役員

-
- 2006年 当社入社 **新卒として入社**
 - 2015年 当社執行役員 **LIFULL史上最年少（当時32歳）**
 - 2019年 **LIFULL HOME'S事業本部長に就任**
 - 2020年 当社取締役執行役員
 - 2023年 当社代表取締役社長執行役員（現任）

LIFULL (2120) がお伝えしたい4つのこと

1. LIFULLについて

2. 中期経営計画（2026~2028）で目指すこと

（住領域×AIのリーディングカンパニーに向けて強固な土台づくり）

3. 2026年9月期第1四半期 決算ダイジェスト

4. 株主還元の強化（株主優待制度を新設）



株式会社LIFULL 会社概要 (2025年12月31日現在)

証券コード	2120 (東京証券取引所 プライム市場)
本社	東京都千代田区麴町
代表者	代表取締役会長 井上 高志 代表取締役社長執行役員 伊東 祐司
沿革	1997年3月12日 設立 2006年10月 東証マザーズ上場 2010年3月 東証一部へ市場変更 2022年4月 東証プライムへ移行
資本金	9,730百万円
発行済株式数	134,380,704株 (内、自己株式数 6,245,406株)
連結従業員数	1,033名 (内、臨時雇用者数124名、海外子会社115名)
主な株主	LIFULL役員、楽天グループ株式会社 (18.6%)

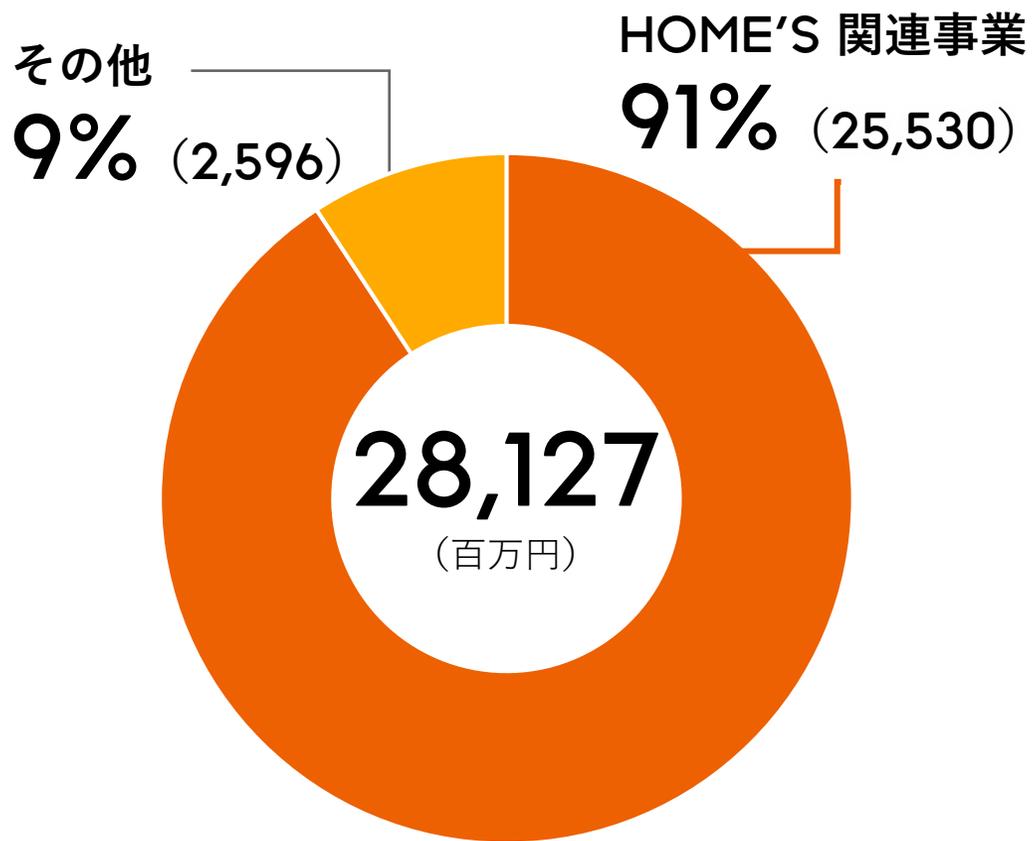


代表取締役会長
井上 高志

代表取締役社長執行役員
伊東 祐司

事業概要

■2025年9月期 売上収益実績 (百万円)



HOME'S 関連事業



日本最大級の不動産・住宅の総合情報サービス



日本最大級の不動産投資と収益物件の情報サイト



オフィス開発拠点

主要事業

その他

住まい領域周辺の様々な社会課題を解決する事業を展開

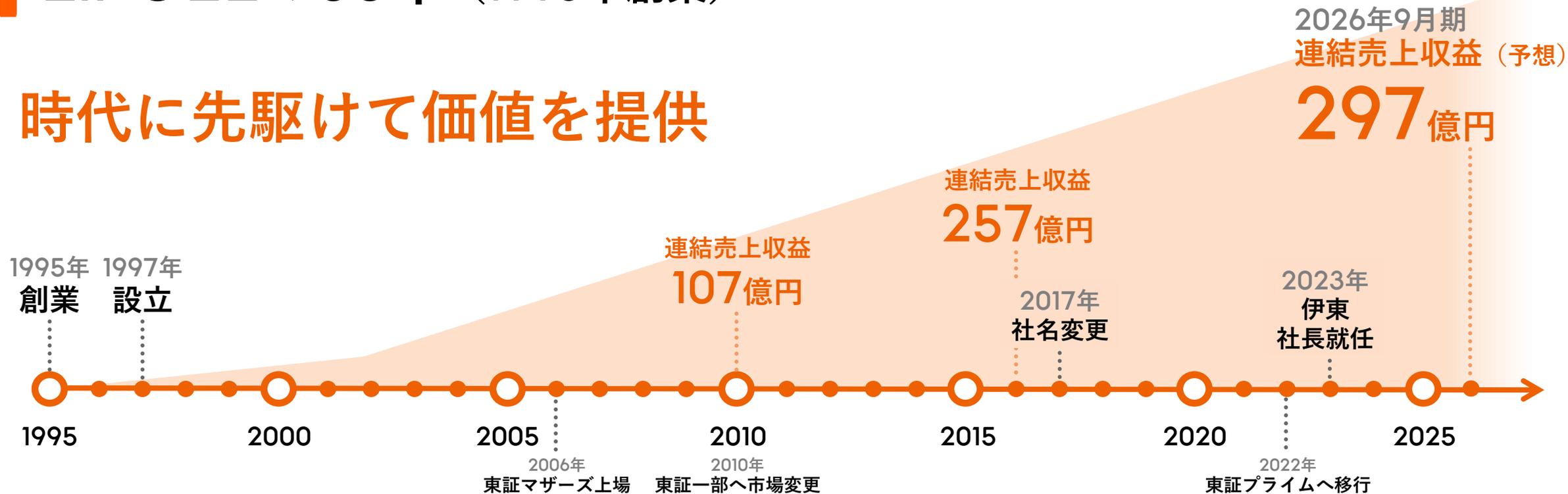
- ・日本最大級の介護施設情報サイト「**LIFULL介護**」
- ・遊休不動産を再生して利活用する**地方創生事業** など

その他

※ 海外事業は、2025年9月期中にリストラクチャリングを実施
非継続事業に分類

LIFULLの30年（1995年創業）

時代に先駆けて価値を提供



インターネットの広がり



スマートフォンの普及

リモートワークの普及
AI、生成AIの広がり



当社サービス



不動産・住宅情報サイト
「HOME'S」サービス開始
(現LIFULL HOME'S)



スマートフォン向け
アプリの提供開始



オンライン内見・IT重要事項
説明のサービス提供開始



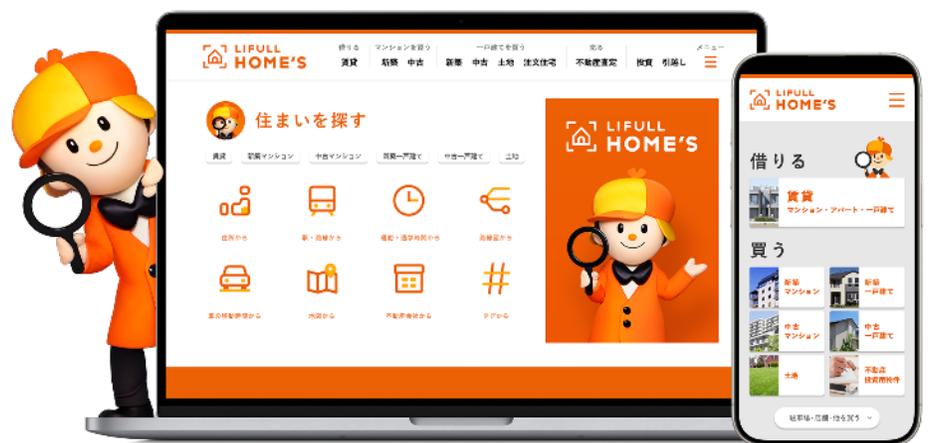
生成AIを活用した
「AIホームズくん」提供開始



主力事業

LIFULL HOME'Sについて

1997年誕生（ライフフルホームズ）



LIFULL HOME'S

検索

<https://www.homes.co.jp/>

住まいのことなら何でも！

賃貸

新築

土地

売却
査定

不動産
投資

掲載物件数

600

※2026年2月現在
万件以上

顧客数

(利用事業者)

3.3

※2026年第1四半期平均
万店舗以上

PC

タブレット

スマホ
サイト

アプリ

アプリ

累計DL数

900

※2025年11月現在
万件以上

ユーザーと事業者のニーズに寄り添い続け、ゆるぎない信頼を獲得



※1
2年連続 物件鮮度No.1
(2024年／2025年)

借りる・買う・売る
すべての領域で高評価

PC
利用者数 ※2
No.1

賃貸領域
総合 ※3
No.1

売買領域
総合 ※4
No.1

売買訪問
査定率 ※5
No.1

NEW 5年連続



社内開発力が強み

テクノロジーで
住まい探しをもっと便利に、安心に、楽しく

ユーザー向け



- ・ 鮮度の高い豊富な不動産情報
- ・ 比較しやすい便利な検索機能

不動産事業者向け



LINE会社問合せ



会社情報EX



会社情報PR

- ・ 効率的な集客支援
- ・ 業務の生産性を向上させる豊富なサービス群

最先端のAIを活用



ユーザー

AIホームズくん



不動産事業者

不動産事業者様との
DXパートナーシップ協定締結

TSUKURUBA

あしたを、つなぐ — 野村不動産グループ
野村不動産ソリューションズ

ハウスコム

LIFULL 社内

全社横断で活用を推進

96%以上が活用

半年で5万時間
業務時間を創出

(株式会社LIFULL単体、2025年4~9月)

2026年2月までのAI関連のプレスリリース 21本



中期経営計画

(2026年9月期～2028年9月期)

中期経営計画（2026年9月期～2028年9月期）のテーマ・ポイント

中長期に目指す姿

グループシナジーを最大化し、
住領域×AIでNo.1に

中期経営計画の重点ポイント

① 主要事業
（LIFULL HOME'S）の成長

+

② グループシナジー最大化
（周辺事業の成長）

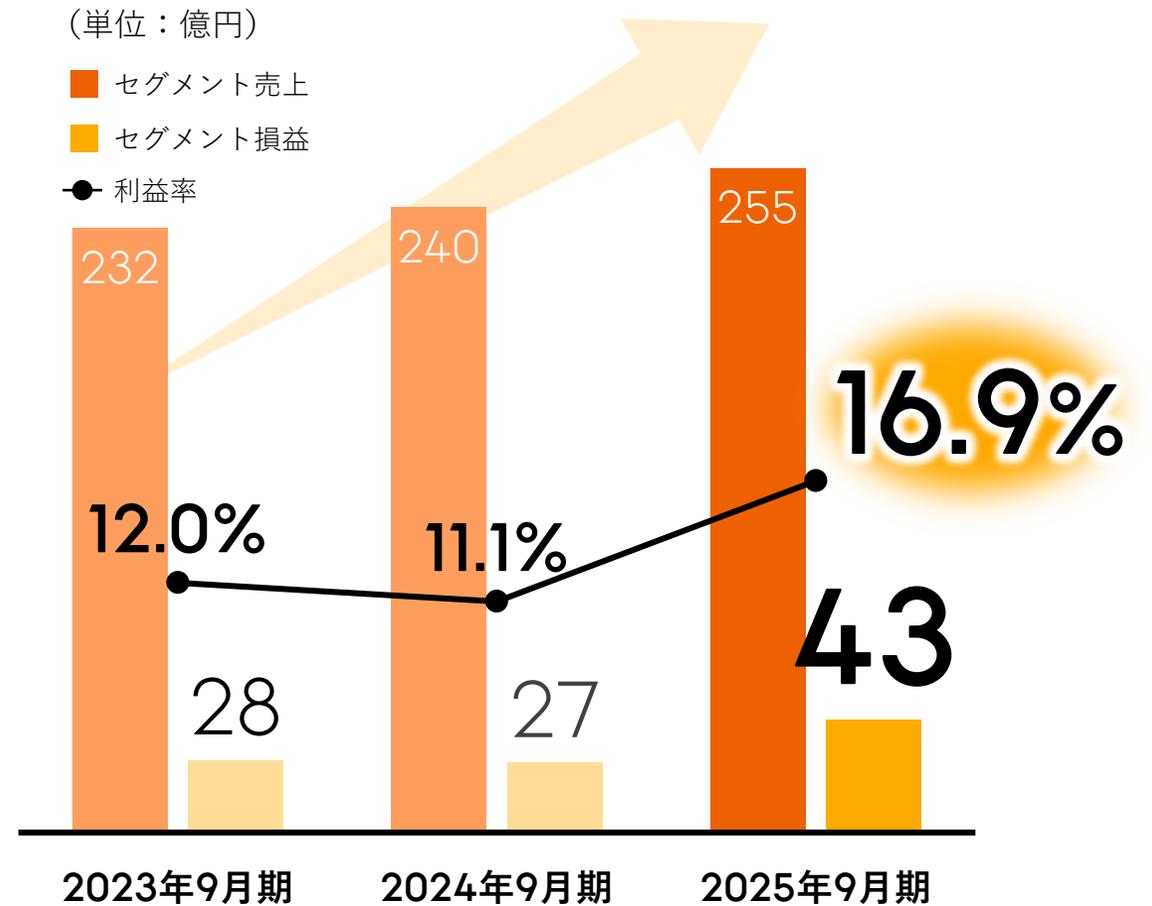
+

③ AI活用・最適化による
非連続成長



中期経営計画 ①主要事業（LIFULL HOME'S）の成長

継続してきたサイト開発・営業施策の強化が好循環で業績を拡大

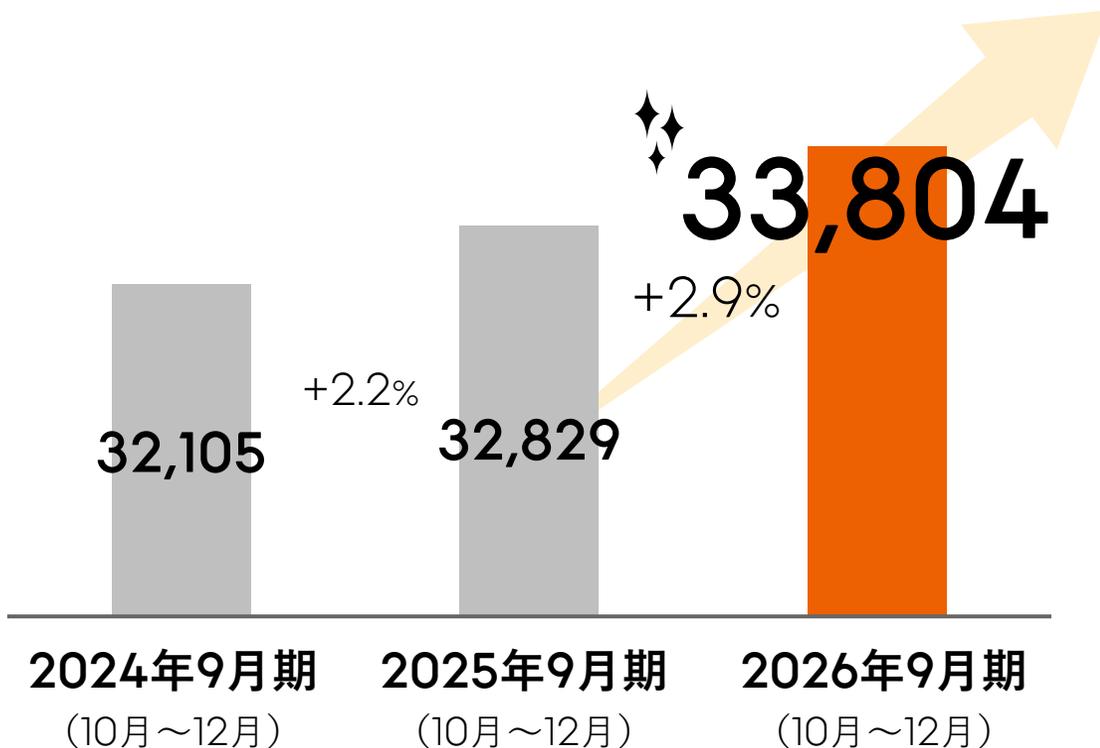


中期経営計画 ①主要事業（LIFULL HOME'S）の成長

HOME'S関連の重要指標：顧客数、ARPA（顧客単価）も拡大を継続

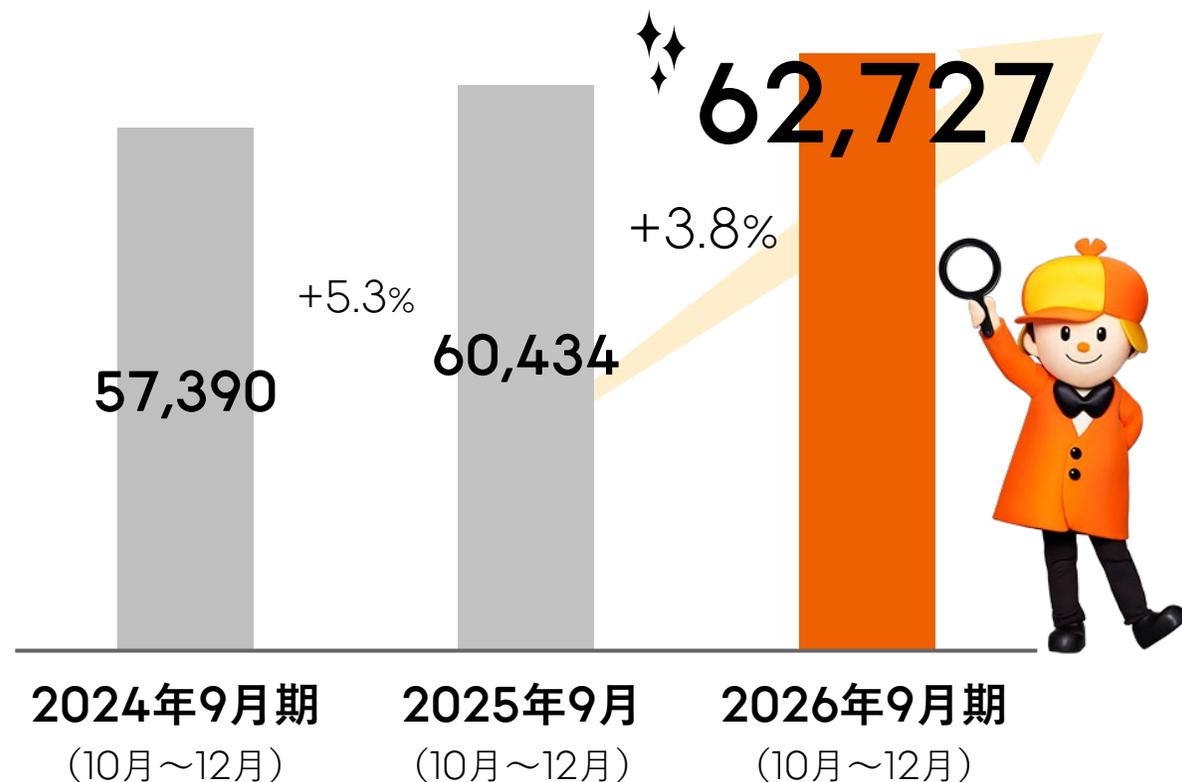
顧客数

※3ヵ月間の平均値



ARPA（円）

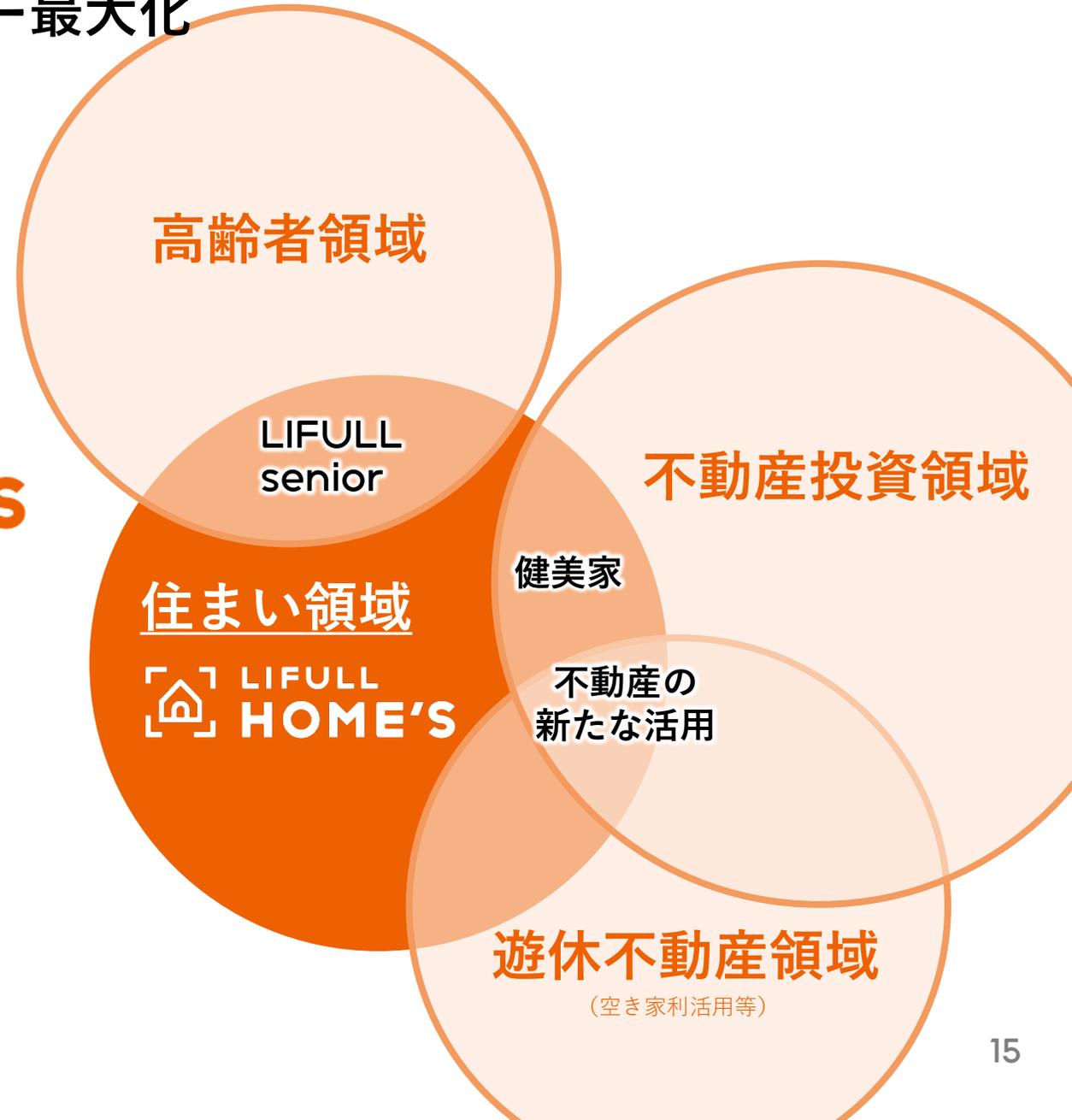
※3ヵ月間の平均値



中期経営計画 ②グループシナジー最大化

LIFULLの強みを活かし、国内の住領域の事業を拡大

- 最重要** 実需の住まい探し 
- 注力** 投資用不動産領域 
- 高齢者向け介護施設領域 



中期経営計画 ②グループシナジー最大化

実需 × 投資

不動産領域で
最大の情報提供を目指す



不動産
データベースの拡充



不動産事業者の
ネットワークの拡大



ユーザー
満足度の向上

住まい（実需）

LIFULL
HOME'S



- 掲載物件数 600万件以上
- 豊富な領域の事業者ネットワーク
- 膨大なユーザートラフィック

収益物件（投資）

健美家.
by LIFULL



- 掲載物件数 8万件以上
- 収益物件を主に扱う事業者
- アクティブな不動産投資家
コミュニティ

中期経営計画

② グループシナジー最大化

注力事業：健美家

掲載物件数

2020年7月 子会社化



不動産投資と
収益物件の情報サイト

健美家.
by LIFULL

約4万件

2022年10月

LIFULL
HOME'S

不動産投資

健美家に統合

2023年4月
データベース統合

2025年12月末現在

8万件以上

子会社化から

2倍以上

営業強化で
さらに加速中

売上収益

前期比

+16.6%

2023年9月期

2024年9月期

2025年9月期

中期経営計画

③ AI活用・最適化による非連続成長

サービスを拡大しながら
各事業のデータを拡充

住まい
住替え

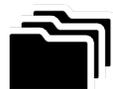
LIFULL
HOME'S



他ポータルや不動産テック企業と
差別化要因となる住まい領域拡張データ

投資用
不動産

健美家.
by LIFULL



高齢者施設

LIFULL senior



遊休不動産
資産活用

LIFULL Investment
LIFULL Social Asset



LIFULLグループのデータ + AIを活用して
“住領域 × AI No.1”に



AIに最適化



- AIに適したデータ配置より便利なサービス (事業者、ユーザー)
- 業務の大幅な効率化 (事業者、社内)

新サービスのご紹介

2025年12月に「LIFULL AI」をリリース

LIFULLの強みである住まい関連データ×AI技術を活かし、新しい住まい探し体験を提供

LIFULLグループが目指すソリューション構想

LIFULLの強み

LIFULLグループで
30年間蓄積した
住まい領域データ

LIFULL
HOME'S

健美家.
by LIFULL

LIFULL senior

LIFULL Investment
LIFULL Social Asset

将来のサービス



次世代の住まい探し

LIFULL AI

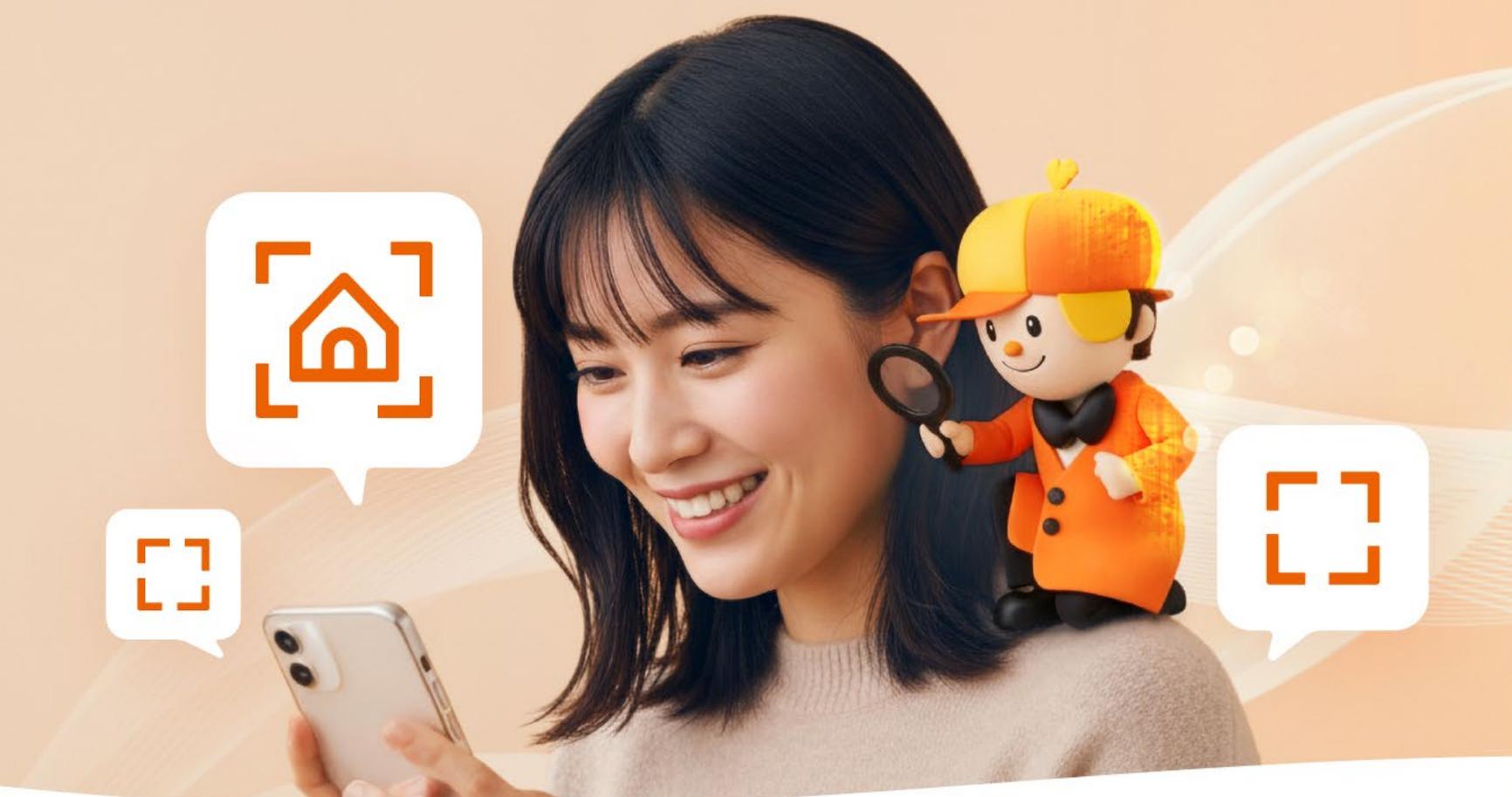
LIFULLのあらゆるデータにアクセスできる
AIエージェント

CONCEPT MOVIE

次世代の住まい探しを体験



<https://youtu.be/D6UiaSdt6t4>



LIFULL ✨ AI

LIFULLのあらゆるデータにアクセスできるAIエージェント

LIFULL ✨ AI



こんにちは。
お手伝いできることは
ありますか？

ホームズくん質問する



一人暮らし

子供が生まれた

家を売りたい

ハザードマップ

LIFULL AI 「AIホームズくん」を提供開始

対話型でよりぴったりの住まいを提案。ユーザーの好みを学習し自動検索・提案

AIホームズくん

🗨️ 試してみてね!



<https://ai.lifull.com/aihomeskun/>

- 24時間相談可能
- 相談することで好みを学習、よりあなたにぴったりの提案

検索から相談へ体験を一新



2人で住むなら、A駅とB駅まで30分以内、駅近な物件ってどこかな？



初めての住み替えなんだけど、まずは何から準備すればいいのか教えて！



今の賃貸に住み続けるのとマイホームを購入するのがどちらがいいかな。



登山グッズをたっぷり収納できて、名山にも行きやすい家に引越したいな。

2028年9月期には過去最高の営業利益を更新へ

グループのリソースを最大活用し、**住領域 × AIでNo.1** に

前中計期間の実績
(2021年9月期～2025年9月期)

選択と集中

事業ストラクチャの
大幅な改革

- ・ 海外事業から撤退
- ・ 周辺事業の売却

国内 主要事業へ回帰

本中計 (2026年9月期～2028年9月期)

定量目標 (2028年9月期)

売上収益 (連結)
350~400 億円

営業利益 (連結)
55~60 億円
営業利益率：15%超

(2月12日発表)

2026年9月期 第1四半期 決算ダイジェスト

2026年9月期 第1四半期 決算のポイント

HOME'S関連事業の増収と収益性向上により、大幅な増益

売上収益

69 億円

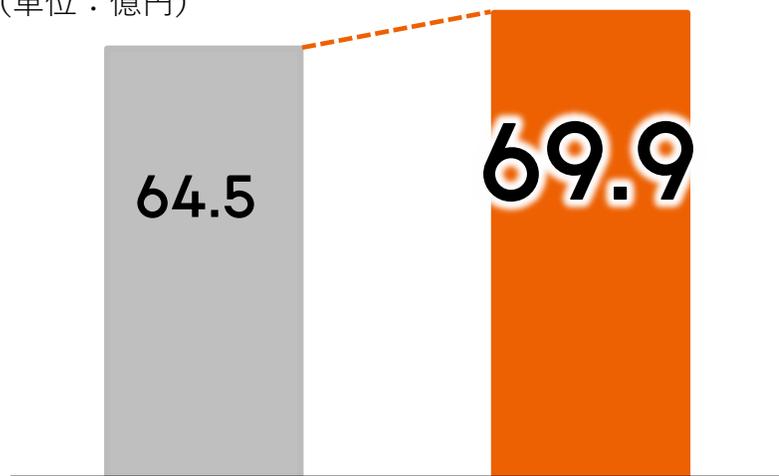
営業利益

11 億円

前期比 +8.3%

前期比 +42.1%

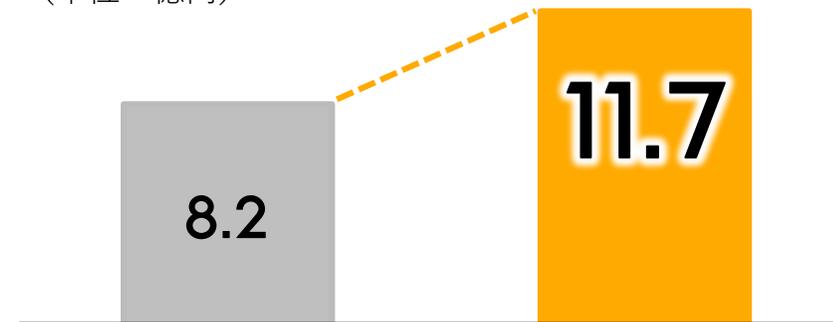
(単位：億円)



2025年9月期
第1四半期 (10~12月)

2026年9月期
第1四半期 (10~12月)

(単位：億円)



2025年9月期
第1四半期 (10~12月)

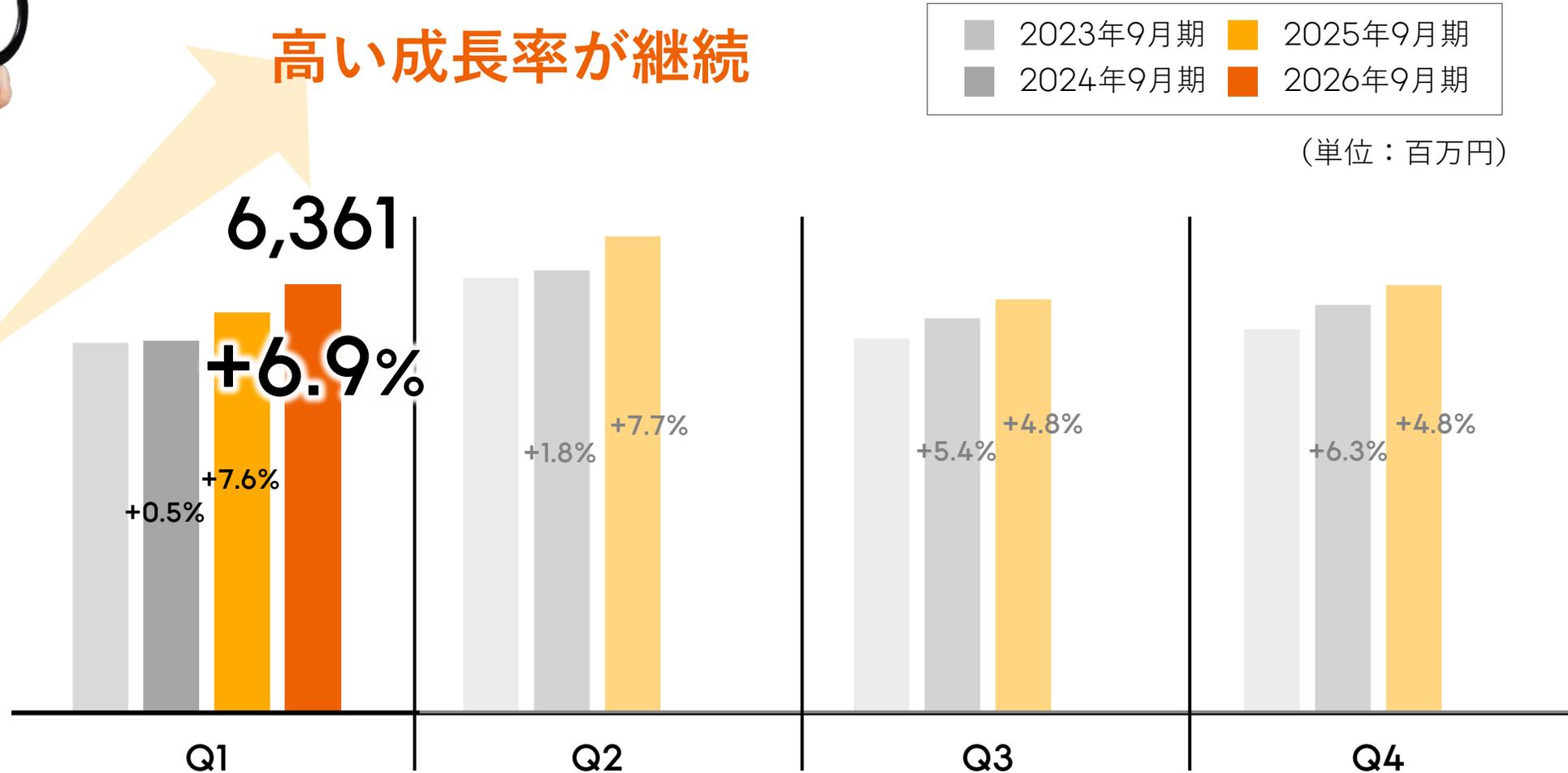
2026年9月期
第1四半期 (10~12月)

「LIFULL HOME'S」の進捗状況

2024年9月期第1四半期から9四半期連続で連結売上収益が順調に拡大



高い成長率が継続



2026年9月期 通期業績予想

中期経営計画の目標達成に向けて2026年9月期は成長投資を強化

売上収益 **297** 億円
(前期比 +5.6%)

営業利益 **30** 億円
(前期比 ▲21.4%)



投資強化の3つのポイント

人材の採用の強化

営業・開発の人材強化

最適な広告宣伝

集客・認知度向上

AI・生成AI

サービス・社内での活用促進

コントロールライン：営業利益率 **10% 超**

2026年9月期 連結業績予想の進捗

中期経営計画最初の四半期は、繁忙期の第2四半期に向けて**順調なスタート**

簡易損益計算書

	2026年9月期 (10-9月) 【通期予想】	2026年9月期 Q1 (10-12月) 【実績】	進捗率
(単位：百万円)			
売上収益	29,700	6,993	23.5%
売上原価	2,016	406	20.1%
販管費	24,737	5,402	21.8%
人件費関連	9,879	2,270	23.0%
広告宣伝費・営業費	9,498	1,877	19.8%
その他	5,360	1,658	30.9%
その他収益及び費用	53	▲ 7	-
営業利益	3,000	1,177	39.2%
営業利益率	10.1%	16.8%	-
当期利益 [※]	1,900	753	39.6%

※ 当期利益：親会社の所有者に帰属する当期利益

サービス別売上収益

	2026年9月期 (10-9月) 【通期予想】	2026年9月期 Q1 (10-12月) 【実績】	進捗率
(単位：百万円)			
売上収益	29,700	6,993	23.5%
HOME'S関連事業	26,450	6,361	24.0%
その他	3,250	632	19.4%

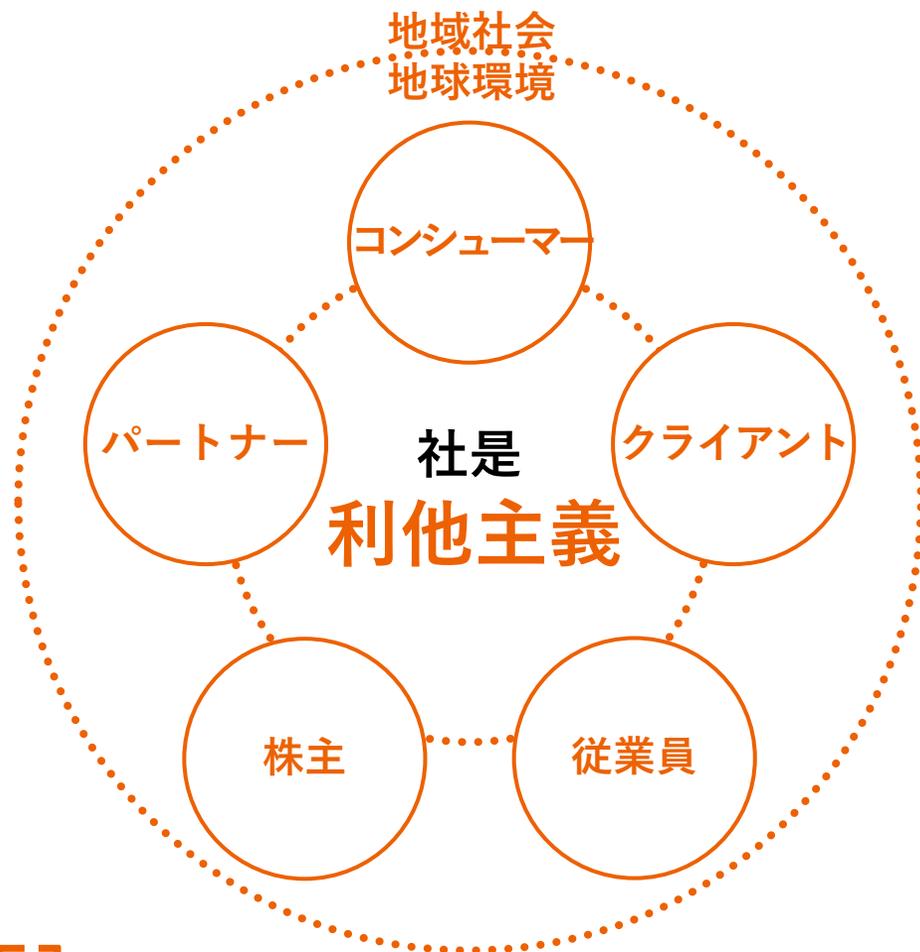
その他、決算内容の詳細は
当社コーポレートサイト
(<https://lifull.com/ir/ir-data/fy2026/>)
をご覧ください。

株主還元強化

(株主優待制度の新設、配当予想の開示)

LIFULLグループの経営の考え方

公益志本主義 社是を基本に全てのステークホルダーに配慮した経営



コンシューマー

LIFULL HOME'S等暮らしを豊かにするサービス

クライアント

事業者の業務を効率化するサービス

従業員

世界最高のチームづくり

パートナー

不動産情報コンソーシアムや産学連携でオープンイノベーションを創出

株主

資本コストを意識した経営

社会

地方創生等の社会課題解決を目指したサービス 社会貢献活動 One P's

地球環境

環境を重視したスタートアップ事業への出資 TCFDへの対応

株主優待制度の新設

当社株式への投資魅力の向上と、長期ファンの獲得を目指して、株主優待制度を新設



基準日 毎年9月末日、3月末日

保有株式数 40単元（4,000株）以上

継続保有
期間 1年以上
ただし初回は半年以上

（2026年3月末・9月末の継続保有者を対象）

対象となるためには、権利付き最終日の2026年3月27日(金)に
購入手続きが完了していることが必要です。

優待内容

① 電子マネー

15,000円 × 年2回（年間30,000円）

② 自社サービス利用特典

（詳細は次ページ）

詳細は、2026年2月12日公表の「[株主優待制度の新設に関するお知らせ](#)」をご覧ください

株主優待：自社サービス利用特典

サービス利用特典を電子マネーと合わせて提供（有効期間 1年、株主様ご本人を対象）



(<https://www.homes.co.jp/>)



LIFULL HOME'Sを利用して問合せを行った事業者で成約

賃貸：15,000円キャッシュバック
(掲載価格15万円以上の物件)

購入：50,000円キャッシュバック
(掲載価格5千万円以上のマンション・一戸建て・土地)
※賃貸と購入は、有効期間内に各1回のみ利用可能



(<https://stay-owner.lifull.jp/>)



LIFULL STAY
(<https://stay-owner.lifull.jp/>)
の掲載物件を購入

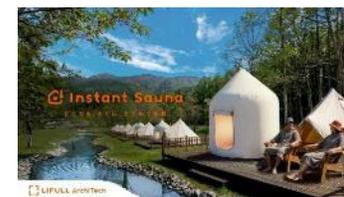
販売価格から50万円割引



(<https://instantproducts.lifull.net/house/>)



インスタントハウス
：販売価格から20%割引



インスタントサウナ
：販売価格から20%割引

株主還元の拡充

■ 配当予想 (2026年9月期)

5.21円^{※1}

配当性向 **30%**
(非経常的な要因を考慮)

+

■ 株主優待

年間合計 **30,000円**

+ サービス利用特典

(参考) 利回り^{※2}

配当利回り

2.5%

優待利回り

3.6%

総利回り

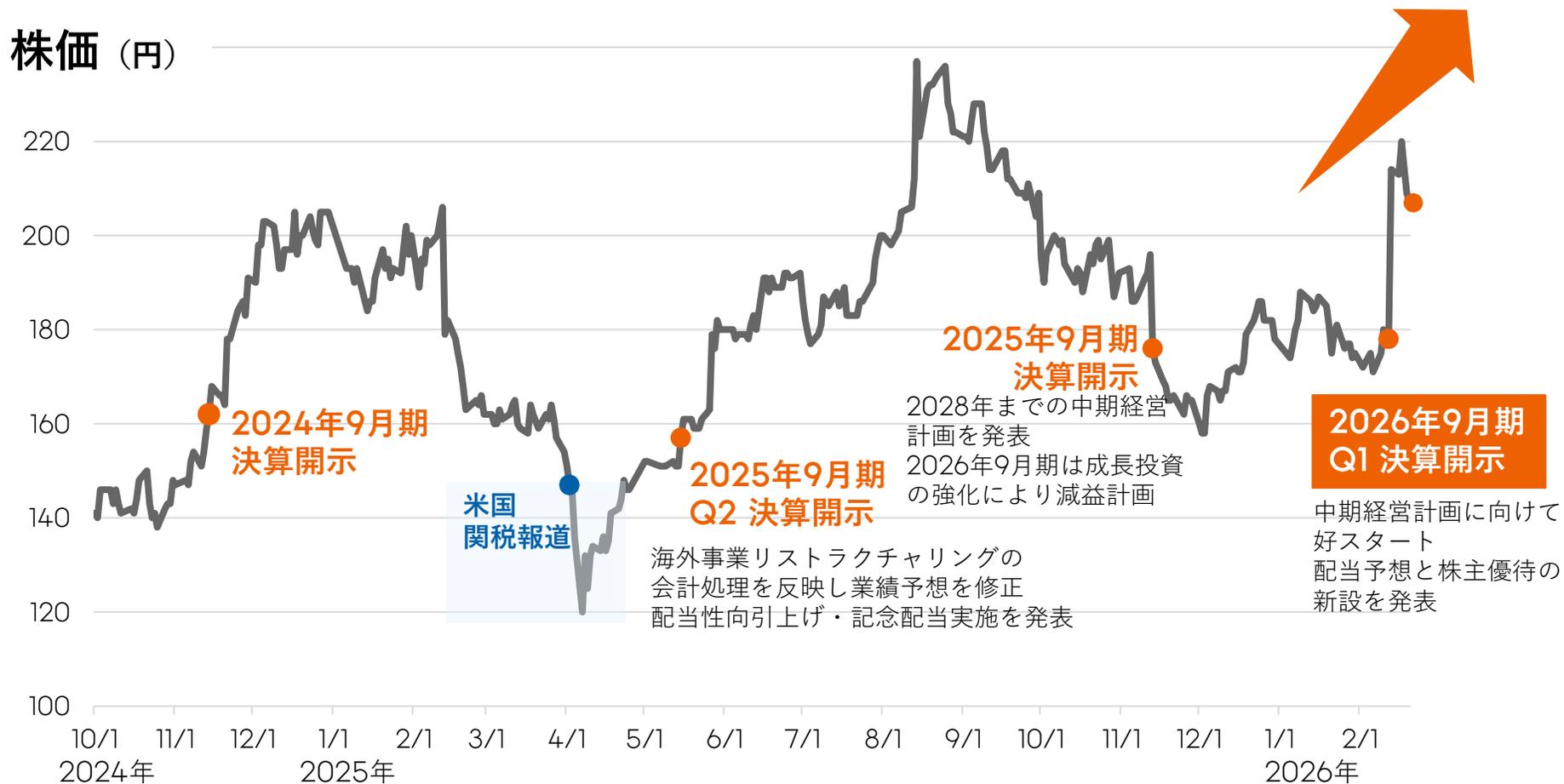
= **6.1%**

今後も事業成長により株主還元の拡充を継続的に検討

株価の推移

第1四半期はHOME'S関連の好調が継続し増収増益

2026年9月期の配当予想と、株主優待制度の新設を公表したことで、株価は上昇



2025年9月期通期
決算発表後
(2025年11月13日)

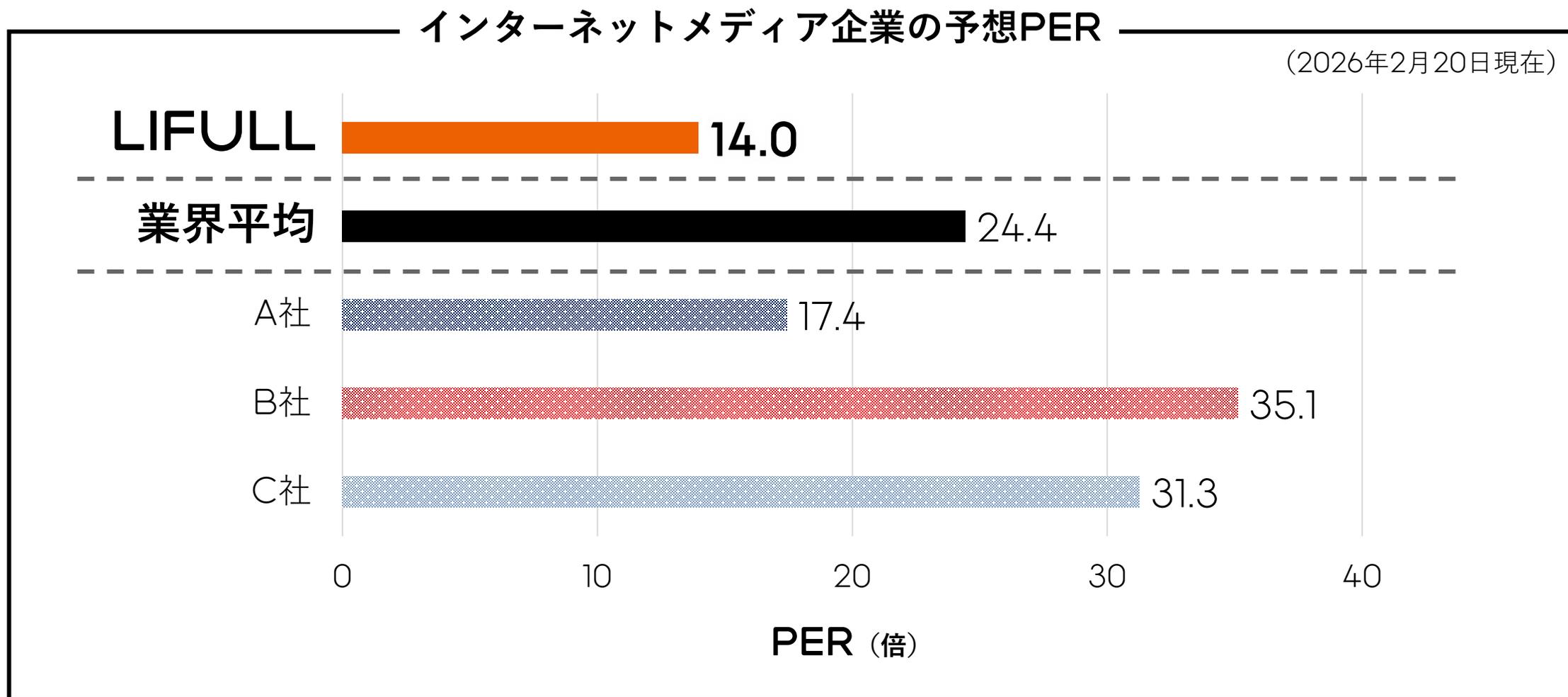
176円

17.6%上昇↑

(2026年2月20日)

207円

(参考) 類似会社の予想PER (インターネットメディア企業) 比較



Appendix

(参考) 2026年9月期第1四半期 決算補足資料のAIによるまとめ

2026年9月期 第1四半期 決算サマリー：LIFULLの「再加速」

～主力事業の好調とAIによる圧倒的な生産性向上で、大幅増益を達成～

1. 財務ハイライト：増収・大幅増益のクリーンスタート

主力であるHOME'S関連事業が牽引し、通期計画の達成に向けて極めて順調な滑り出しを見せています。

- ・ 売上収益：69億円（前年同期比 +8.3%）
- ・ 営業利益：11億円（前年同期比 +42.1%）
- ・ 進捗状況：第2四半期の繁忙期を前に、収益性向上により大幅な増益を達成。

2. 事業の強みと成長ドライバー

- ・ 「LIFULL HOME'S」のシェアが拡大
 - ・ 顧客数・ARPA（顧客単価）の同時拡大：営業強化と売買領域の好調により、9四半期連続で増収を継続。
 - ・ 外部評価No.1：物件鮮度2年連続No.1、売買訪問査定率5年連続No.1等、ユーザー・事業者双方から高い信頼を獲得。
- ・ 「住まい×AI」のリーディングカンパニーへ
 - ・ 新サービス：対話型AIエージェント「LIFULL AI」をリリースし、検索から「相談」へユーザー体験を刷新。
 - ・ 圧倒的な内製効率：従業員の96.2%が生成AIを活用。半年間で約50,000時間の業務時間を創出。
- ・ グループシナジーの最大化
 - ・ 不動産投資領域の「健美家」がHOME'Sとのデータベース統合により売上収益+18.8%と成長。

3. 投資家還元と中長期ビジョン

- ・ 株主還元の強化（株主優待制度の新導入）
 - ・ 株主優待制度の新設：毎年3月・9月末の株主を対象に、最大で年間30,000円分の電子マネー等を贈呈。
 - ・ 配当予想の早期開示：透明性の高い情報開示により、配当+優待の総合利回りを把握しやすい環境を整備。
- ・ 2028年9月期に向けた定量目標
 - ・ 連結売上収益350～400億円、連結営業利益55～60億円、営業利益率15%超を目指す。
 - ・ 中期経営計画最初の第1四半期は順調なスタート。

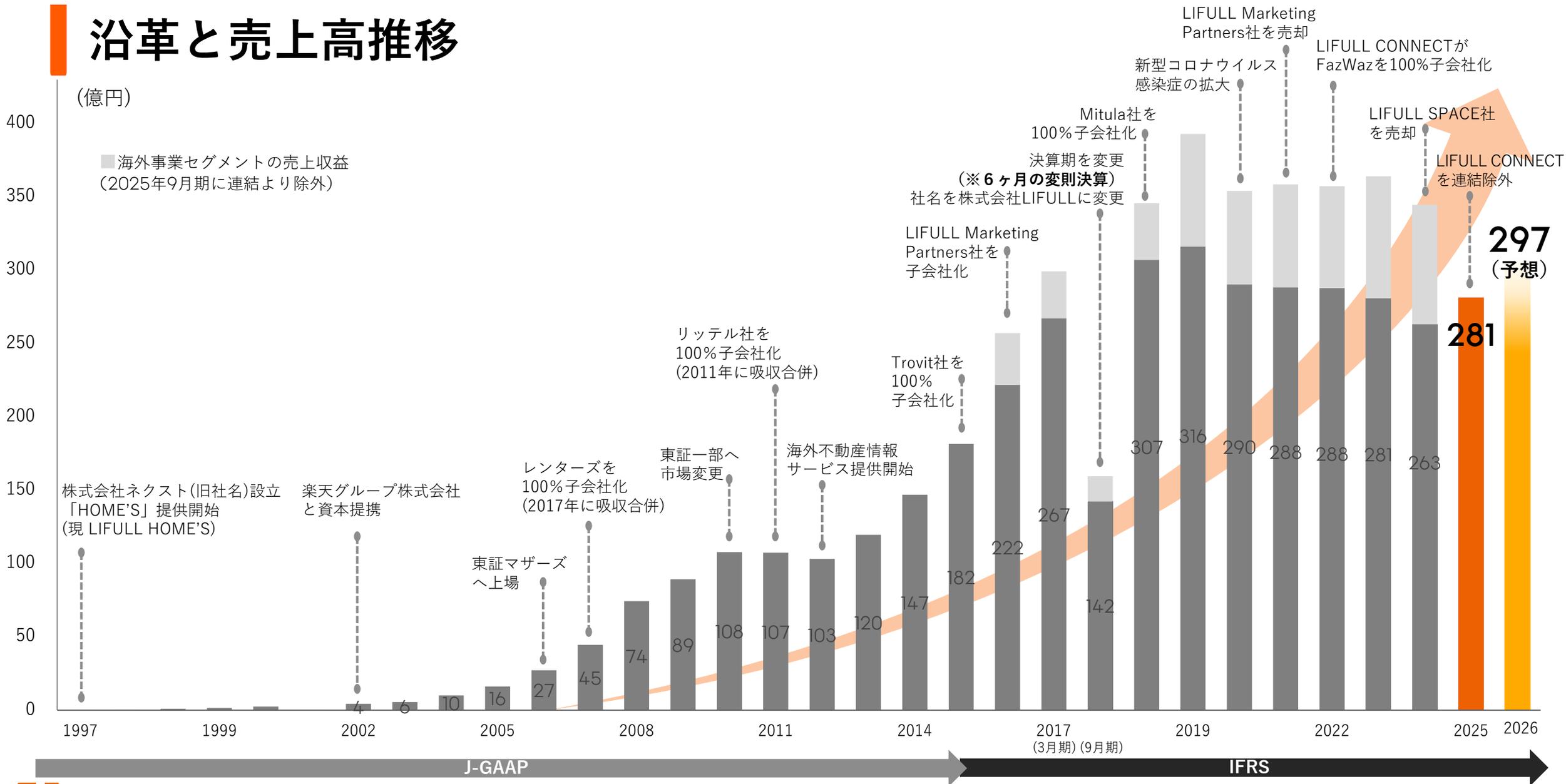
投資家の皆様へ

LIFULLは、30年間蓄積した膨大な住まい領域データに最新のAI技術を掛け合わせることで、既存事業の収益力強化と新規領域の拡大を同時に実現しています。今後も「あらゆるLIFEを、FULLに。」の実現に向け、持続的な企業価値向上に努めます。

沿革と売上高推移

(億円)

■ 海外事業セグメントの売上収益
(2025年9月期に連結より除外)



2026年9月期 第1四半期 決算情報

簡易損益計算書 IFRS

- HOME'S関連の好調が継続し、売上収益8.3%増収、営業利益42.1%の大幅増益
- コストは概ね通期計画通りに進捗

(単位：百万円)

	2025年9月期 Q1 (10-12月)	2026年9月期 Q1 (10-12月)	増減額	増減率		
継続事業によるもの	売上収益	6,458	6,993	+ 535	+8.3%	※1
	売上原価	340	406	+ 65	+19.1%	
	販管費	5,369	5,402	+ 33	+0.6%	
	人件費関連	2,342	2,270	▲72	▲3.1%	※2
	広告宣伝費・営業費	1,840	1,877	+ 36	+2.0%	
	減価償却費	270	349	+ 78	+28.9%	
	その他	915	905	▲10	▲1.1%	※3
	その他収益及び費用	81	▲ 7	▲88	-	※4
	営業利益	828	1,177	+ 348	+42.1%	※5
	営業利益率	+12.8%	+16.8%	+4.0pt	-	
当期/四半期利益 [※]	383	753	+ 369	+96.3%		

※当期利益：親会社の所有者に帰属する当期利益
 ※前期もしくは当期が赤字の場合、増減率は記載していません

※1 主にHOME'S関連の増収による
 ※2 主に賞与引当金が減少したことによる
 ※3 採用費が増加した一方、事業税等が減少したことによる
 ※4 主に為替差益が62百万円減少したことによる
 ※5 主にHOME'S関連の増収による

セグメント別売上収益・利益 IFRS

- HOME'S関連の集客力向上等の効果により増収（前期比+8.3%）大幅な増益（同+58.5%）
- その他は増収効果等により赤字幅が縮小

(単位：百万円)	2025年9月期	2026年9月期	増減額	増減率	摘要
	Q1 (10-12月)	Q1 (10-12月)			
売上収益	6,458	6,993	+ 535	+8.3%	
HOME'S関連	5,951	6,361	+ 409	+6.9%	主に前期から好循環が続き、顧客数や反響数の増加が寄与
その他	506	632	+ 126	+25.0%	主に地方創生関連事業による増加

(単位：百万円)	2025年9月期	2026年9月期	増減額	増減率	摘要
	Q1 (10-12月)	Q1 (10-12月)			
セグメント損益	747	1,185	+ 437	+58.5%	
HOME'S関連	902	1,330	+ 428	+47.5%	増収効果と収益力の向上により増益
その他	▲157	▲ 150	+ 7	-	
セグメント間取引	3	5	+ 2	+61.0%	

※ セグメント間取引について、相殺除去後の数値を記載しています

※ 「海外事業」を非継続事業に分類したことにより、報告セグメントは2025年実績より「HOME'S関連」の1つに変更

※ 前期もしくは当期が赤字の場合、増減率は記載していません

財政状態計算書の状況 IFRS

- 前期の株主還元強化（配当性向の引き上げと記念配当の実施）に伴う配当支払により、現預金及び利益剰余金の減少

(単位：百万円)	2025年9月末	2025年12月末	増減額	増減率	摘要	
資産合計	40,915	39,706	▲1,209	▲3.0%		
流動資産	18,522	17,704	▲818	▲4.4%	現預金 ▲1,275 売掛金及びその他の短期債権 ▲323 その他の短期金融資産 +449 その他流動資産 +286 売却目的で保有する資産 +45	キャッシュ・フローの状況（P11）を参照 主に前払費用の増加による 主に海外子会社（Mitula）の現預金残高の増加
非流動資産	22,392	22,001	▲391	▲1.7%	有形固定資産 ▲106 使用資産 ▲140 持分法で会計処理されている投資 +175 その他の長期金融資産 +279 繰延税金資産 ▲537	主に地域創生ファンドによる増加 主に投資有価証券の評価替えによる増加※
負債合計	14,691	13,763	▲928	▲6.3%		
流動負債	5,732	5,053	▲678	▲11.8%	買掛金及びその他の短期債務 ▲312 その他の流動負債 ▲209	主に賞与引当金の減少による
非流動負債	8,958	8,709	▲249	▲2.8%	リース負債（固定） ▲147	
資本合計	26,223	25,943	▲280	▲1.1%	利益剰余金 ▲580 その他の資本の構成要素 +270	前期の株主還元強化による
1株当たり						
所有者帰属持分(円)	203.08	200.72	▲2.37			

※ CONNECT NEXTの投資有価証券：5,803百万円

キャッシュ・フローの状況 IFRS

- ・ 事業が好調に推移、営業CFは主にHOME'S関連の収益力向上により増加
- ・ 投資CFは前年に楽天ステイの信託受益権取得があり、当期は減少
- ・ 財務CFは配当支払額の増加により減少（前期は過去最高の配当額）

	2025年9月期 Q1 (10-12月)	2026年9月期 Q1 (10-12月)	増減額	主な要因		
				項目名	25/9月期 (Q1)	26/9月期 (Q1)
(単位：百万円)						
営業CF	▲67	775	+ 843	税引前四半期利益	+ 832	+ 1,306
				非継続事業からの税引前利益	▲236	▲8
				減価償却費及び償却費	+ 488	+ 352
				買掛金及びその他の短期債務の増減額（▲は減少）	▲591	▲441
				棚卸資産の増減額	▲296	▲35
				その他（営業）	▲337	▲616
				法人所得税の支払額又は還付額（▲は支払）	▲385	▲105
投資CF	▲6,342	▲547	+ 5,795	有形固定資産及び投資不動産の取得による支出	▲6,045	▲18
				関連会社株式の取得による支出	-	▲216
				関連会社株式の売却による収入	-	+ 176
				貸付による支出	▲933	▲1,236
財務CF	2,540	▲1,536	▲4,076	短期借入による収入	+ 300	+ 200
				長期借入による収入	+ 5,766	-
				借入金の返済による支出	▲3,247	▲280
				配当金の支払額	▲91	▲1,305
現金及び現金同等物の増減	▲3,797	▲1,231	-			
現金及び現金同等物残高	10,836	9,427	▲1,409			

四半期別業績推移

- 売上収益及び営業利益が堅調に推移

【連結】損益計算書（簡易版）

（百万円）

（単位：百万円）	2024年9月期				2025年9月期				2026年9月期
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
売上収益	6,096	7,183	6,374	6,657	6,458	7,833	6,768	7,068	6,993
HOME'S関連事業	5,527	6,575	5,860	6,060	5,951	7,079	6,144	6,354	6,361
その他事業	569	608	513	596	506	753	623	713	632
売上原価	344	348	335	336	340	371	336	410	406
販売費及び一般管理費	5,153	6,584	5,289	5,654	5,369	6,213	5,259	5,850	5,402
人件費関連	2,211	2,199	2,241	2,299	2,342	2,347	2,343	2,606	2,270
広告宣伝費・営業費	1,828	3,233	1,929	2,210	1,840	2,806	1,840	1,985	1,877
減価償却費	284	281	281	260	270	306	296	291	349
その他	829	869	836	884	915	753	779	966	905
その他収益及び費用	▲25	893	▲33	▲74	81	▲252	5	7	▲7
営業利益	573	1,144	717	592	828	995	1,176	814	1,177
営業利益率	9.4%	15.9%	11.2%	8.9%	12.8%	12.7%	17.4%	11.5%	16.8%
四半期利益	▲400	519	▲175	▲8,407	383	3,339	684	908	753

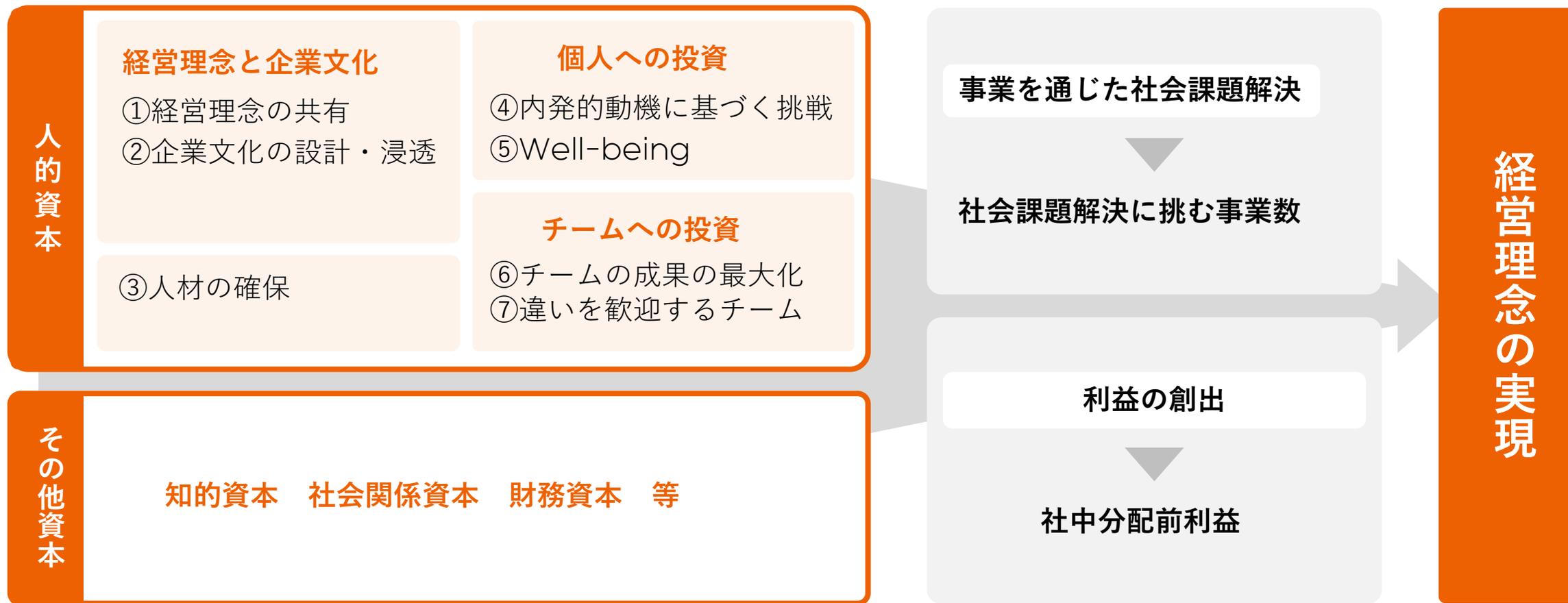
※四半期利益=親会社の所有者に帰属する四半期利益

※セグメント間取引について、相殺除去後の数値を記載しています。

LIFULLグループの サステナビリティの考え方

LIFULLの成長を支える 人的資本の考え方

人的資本 = 経営理念の実現のための重要要素の1つ



内発的動機に基づく挑戦 社内プログラムの事例

LIFULL大学



社員一人ひとりのやりたいことの実現、必要な能力開発を目的とした社内大学

講座の事例

- ・クリティカルシンキング
- ・〇〇業界学ぶゼミ
- ・デザイン思考ワークショップ 等

キャリア選択制度・キャリアフル



キャリア選択制度

自分のキャリアビジョンの実現に向け、半期ごとに異動や職種変更の希望を提出することが可能

キャリアフル

他の部署・職種の仕事を手伝える社内副業制度

One P's



社会貢献活動支援制度

社員が特別有給休暇を活用し、社会貢献活動に参加することを支援するプログラム

社員の年間総労働時間の1%、LIFULL単体の前年度税引き後利益の1%を原資社員のボランティア活動参加を支援するため、年間2日の特別有給休暇を付与

LIFULLグループのサステナビリティ

LIFULLグループの取組みは以下をご覧ください



サステナビリティサイト

<https://lifull.com/sustainability/>



有価証券報告書

<https://lifull.com/ir/ir-data/>

下記のテーマに関する情報が確認できます：

サステナビリティ課題
(マテリアリティ)

サステナビリティ関連の取組
(環境、人材、ガバナンス 等)

ESGデータ

等

TOPICS



**FTSE JPX Blossom
Japan Sector
Relative Index**

**2023年に初選定
2025年は3年目となります**

FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Indexは、ESGの取り組みが優れた日本企業を集めた株価指数。環境や社会に配慮した企業を応援しながら投資ができるため、個人投資家がESG投資を行う際の参考の一つになります。年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）も採用しており、長期的な視点での投資に適した指数と言えます。

※「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」について
<https://www.ftserussell.com/products/indices/blossom-japan>

D&I AWARD

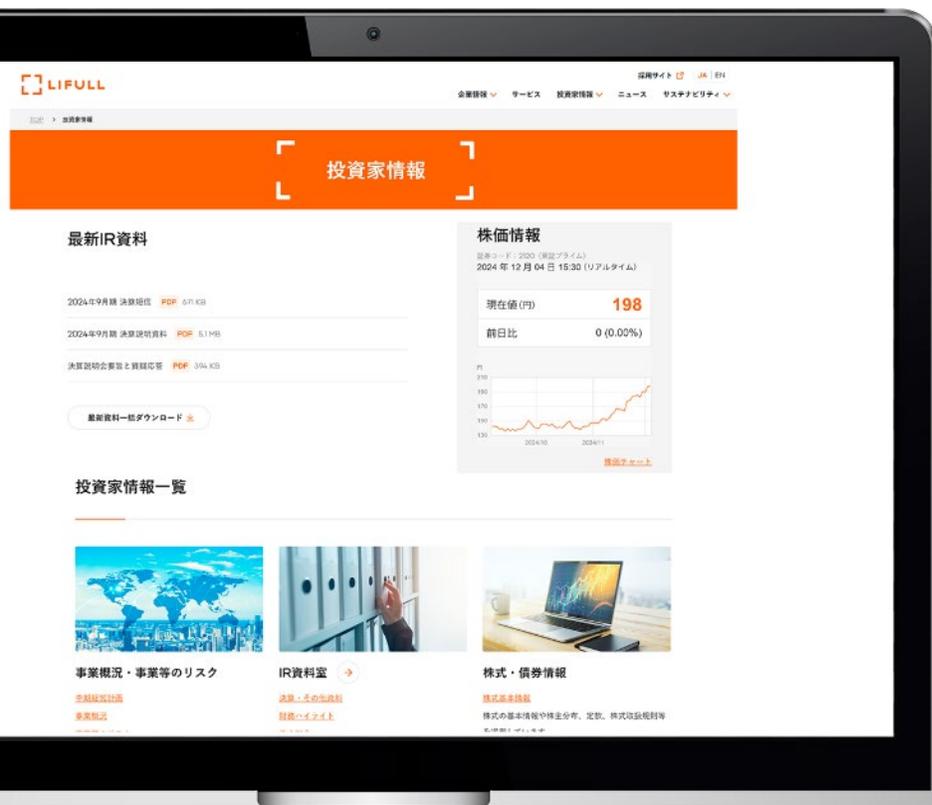


D&I AWARD賞
2023年、2024年

トップインクルーシブカンパニー賞
2024年、2025年

ベストワークプレイス認定
2023年、2024年、2025年

IR情報に関するお問合せ窓口



IRサイト 日本語 <https://lifull.com/ir/>
English <https://lifull.com/en/ir/>



E-mail ir@LIFULL.com

TEL 03-6774-1603 (平日10:00~18:00)

LIFULLサステナビリティ情報

公式Youtubeチャンネル



<https://lifull.com/sustainability/>

サステナビリティの基本方針や
マテリアリティ等を掲載

<https://www.youtube.com/@LIFULL>

決算説明会動画(日本語・
英語吹替)等を掲載